

初出場で初勝利を挙げた八学光星イレブン＝兵庫県立三木総合防災公園陸上競技場(チーム提供)



サッカー女子
全日本高校選手権
9地域代表制から都道府県代表制に移した、日本高校選手権は29日、

沖縄合同に5-0

光星 全国初勝利

兵庫県立三木総合防災公園のシュートの跳ね返りをドリブルで持ち込み、1回戦20試合を行って追加点を挙げた。前半の八学光星は、沖縄県合め、終始試合を有利に進めた。13分はMF戸田鐘が先戦に臨む。

八学光星は開始4分、FW高橋生未のクロスが、木学園(宮城)との2回オウンゴールを誘って先戦に臨む。

▽1回戦

八学光星 5(4-1-0) 沖縄県木台

▽得点リオウンゴール、戸田、高橋、小澤、奥村(八)

「勝ててうれしい」笑顔

○…全国大会初出場ながら初勝利を収めた八学光星。白石優勝主将は「長距離移動など慣れない部分も多かったが、下級生がチームを助けてくれた。内容がこうより勝ててうれしい」と笑顔を見せた。所属する東北リーグは全14試合勝ち無し。悔しい思いを重ね、「憂鬱だった」(白石主将)。それだけに開始直後、高橋生未のクロスが相手に当たってネットを揺らすと、皆が駆け寄って喜びを爆発させた。13分には3年のエース戸田鐘が巧みなドリブルで2人を置き去りにし、左足でニアサイドに突き刺した。戸田は「抜いた瞬間、コースが見えた。その後、2年の小澤珊瑚や1年の高橋、奥村海音がゴールを奪った。次戦は東北リーグで2戦とも大敗した常磐木学園(宮城)。戸田は「相手は『行ける』と思ってる。その隙を突いて貪欲にゴールを狙いたい」と力を込めた。